



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月7日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山田 圭祐

TEL 06-6208-3971

定時株主総会開催予定日 2021年6月18日

配当支払開始予定日

2021年6月21日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月21日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,269	1.7	841	15.8	846	16.8	589	17.5
2020年3月期	8,414	8.2	1,000	29.4	1,017	29.4	714	29.8

(注) 包括利益 2021年3月期 672百万円 (1.6%) 2020年3月期 661百万円 (27.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	81.98		8.1	7.6	10.2
2020年3月期	99.47		10.2	9.3	11.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 1百万円 2020年3月期 2百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	11,432	7,509	65.7	1,043.03
2020年3月期	10,948	7,139	65.2	993.69

(参考) 自己資本 2021年3月期 7,509百万円 2020年3月期 7,139百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,135	80	327	3,292
2020年3月期	1,340	148	464	2,564

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		20.00		25.00	45.00	323	45.2	4.6
2021年3月期		20.00		25.00	45.00	324	54.9	4.4
2022年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		47.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	0.4	860	2.2	870	2.8	610	3.4	84.73

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	7,728,540 株	2020年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2021年3月期	528,850 株	2020年3月期	543,766 株
期中平均株式数	2021年3月期	7,194,622 株	2020年3月期	7,184,800 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
品目別売上・受注高	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、社会経済活動が大きく制限され、厳しい状況で推移しました。2020年5月の緊急事態宣言の解除後は、経済活動レベルの段階的な引き上げにより、一部景気に持ち直しの動きが見られたものの、足元では再び感染拡大が深刻化しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、国内ではケミカル業界向けが引き続き堅調を維持したものの、経済活動の停滞により水処理関連を中心とした売上が低調に推移しました。一方、海外向けでは、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により渡航規制など活動制限の影響を受けながらも、大きな落ち込みもなく堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は、82億69百万円（前期比1.7%減）と減少しました。

利益面につきましては、たな卸資産評価損の計上に伴い、売上総利益は、34億74百万円（同6.7%減）と減少しました。また、企業活動の制限により諸経費が減少したため、販売費及び一般管理費は減少しましたが、売上総利益の減少を吸収するまでには至らず、営業利益は、8億41百万円（同15.8%減）、経常利益は、8億46百万円（同16.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、5億89百万円（同17.5%減）とそれぞれ減益となりました。

主な品目別販売実績は以下のとおりであります。

<定量ポンプ>

国内市場では、上期は新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動の停滞や、中国市場の影響を見極めようとする国内のケミカル・電子材料ユーザーが投資に慎重な動きを見せたことにより、当社の業績も大きく影響を受けました。当社の主力製品である「スムーズフローポンプ」についても、上期は売上の伸びに弱さが見られましたが、下期以降は急速に回復した中国市場や当初の計画を再開する動きのある国内製造業、特に電子材料に関連する市場の投資が活発化し、第4四半期はコロナ禍前の水準まで業績を戻しました。

2020年1月に発売を開始した微量制御型スムーズフロー「Qシリーズ」のマイクロリットルクラスは、従来の同シリーズで評価をいただいた研究・開発分野において更なる用途拡大を後押ししており、新しい市場の開拓に可能性を広げつつあります。

一方で、汎用ポンプは、感染拡大を防止するための外出自粛やコロナ禍の影響に対する様子見感から市場の動きが鈍化し、滅菌・殺菌向けが減収となりましたが、空調ボイラメーカー向けや水処理プラントメーカー向けはケミカル市場同様に下期から上向き、業績回復に寄与しました。

海外市場は、コロナ禍による市場の停滞や米中間題に端を発する中国市場の減速などの影響も懸念されましたが、中国市場の急回復や前期に停滞していた韓国の二次電池業界における設備投資が活発さを取り戻しつつあることから「スムーズフローポンプ」の販売が好調に推移したほか、アジア地域向けは、汎用モーターポンプの売上を維持し業績に貢献しました。

以上の結果、定量ポンプの売上高は、47億27百万円（前期比1.0%減）となりました。

<ケミカル移送ポンプ>

「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」は、製鉄業界における市況悪化や市場ニーズの変化に伴い、戦略の転換を計る国内ユーザーの既存設備に関わる案件が減少したほか、化学工場の設備投資様子見感による新規案件の減少から、売上を落としました。

以上の結果、ケミカル移送ポンプの売上高は、6億41百万円（前期比10.2%減）となりました。

<計測機器・装置>

前期における「pH中和処理装置」の大型物件や設備更新案件などの反動減があったものの、水処理装置の大型物件を多数受注したことにより、売上が増加しました。

以上の結果、計測機器・装置の売上高は、15億91百万円（前期比5.6%増）となりました。

<流体機器>

前期におけるケミカル業界向け大型物件の反動減などにより、売上が減少しました。

以上の結果、流体機器の売上高は、3億79百万円（前期比18.9%減）となりました。

<ケミカルタンク>

ケミカル及び素材業界の設備投資は堅調で、延期が懸念されていた投資計画が予定通り実行され大型物件を多数受注したことにより、売上を維持しました。

以上の結果、ケミカルタンクの売上高は、6億18百万円（前期比0.6%増）となりました。

＜その他＞

その他には、ウェルネス事業部の売上高と立会調整費やメンテナンス等の売上高が含まれています。
その他の売上高は、3億10百万円(前期比6.6%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億83百万円増加し、114億32百万円となりました。
流動資産は5億14百万円増加し、75億87百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加7億51百万円、売上債権の減少50百万円、たな卸資産の減少1億92百万円であります。

固定資産は30百万円減少し、38億45百万円となりました。増減内訳は、有形固定資産の減少1億39百万円、無形固定資産の減少13百万円、投資その他の資産の増加1億23百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億13百万円増加し、39億23百万円となりました。

流動負債は2億18百万円増加し、26億89百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の減少11百万円、未払法人税等の増加96百万円、賞与引当金の増加26百万円であります。

固定負債は1億5百万円減少し、12億33百万円となりました。主な減少内訳は、退職給付に係る負債の減少26百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3億70百万円増加し、75億9百万円となりました。主な増加内訳は、親会社株主に帰属する当期純利益5億89百万円から配当金3億23百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加2億66百万円、資本剰余金の増加13百万円、その他有価証券評価差額金の増加74百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.2%から65.7%へと0.5ポイント上昇いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べて7億27百万円増加し、32億92百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて2億5百万円減少し、11億35百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益8億43百万円、減価償却費2億21百万円、売上債権の減少49百万円、たな卸資産の減少1億92百万円による資金の増加及び法人税等の支払2億37百万円による資金の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて67百万円支出が減少し、80百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出42百万円、無形固定資産の取得による支出29百万円による資金の減少によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べて1億37百万円支出が減少し、3億27百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払3億23百万円による資金の減少によるものであります。

また、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次のとおりです。

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	65.2%	65.7%
時価ベースの自己資本比率	79.1%	84.4%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.29年	0.34年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	818.04	837.65

(注) 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利息の支払額

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念は残るものの、ワクチンの普及や各国の経済対策等により、景気に持ち直しの動きが続くことが期待されます。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境については、国内は低調であった滅菌・殺菌向けなどの水処理関連にも回復の兆しがみられ、海外についても二次電池業界の設備投資需要が底堅く推移しております。一方で、新たな変異株の出現により新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たず、依然として先行き不透明な状況が続くと判断していることから、次期の業績予想につきましては、次のとおり見込んでおります。

連結売上高	8,300百万円 (前期比0.4%増)
連結営業利益	860百万円 (前期比2.2%増)
連結経常利益	870百万円 (前期比2.8%増)
親会社株式に帰属する当期純利益	610百万円 (前期比3.4%増)

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけており、継続的な配当の実施を基本方針としております。

配当性向は30%~50%を目安とし、毎年の業績変動に柔軟に対処するため直近5年間の配当性向を参考に判断し、増配の継続に努めます。また、利益の向上を通じて企業価値向上をはかるべく、内部留保資金は、将来の成長分野への重点投資に有効活用いたします。

当期末の一株当たり配当金につきましては、25円(うち記念配当5円)を予定しております。その結果、当期の年間配当金は中間配当金20円を含め、計45円(うち記念配当5円)を予定しております。

また、次期の一株当たり配当金につきましては、中間配当金20円、期末配当金20円の計40円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者は、主として国内の株主、債権者、取引先であり、また海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては、他社のIFRS適用についての動向を踏まえたうえで、対応の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,704,936	3,456,829
受取手形及び売掛金	2,910,971	2,434,910
電子記録債権	419,936	845,936
商品及び製品	113,537	103,034
仕掛品	5,669	2,154
原材料及び貯蔵品	890,140	711,356
その他	30,875	35,865
貸倒引当金	△2,626	△2,608
流動資産合計	7,073,441	7,587,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,429,172	1,339,948
機械装置及び運搬具(純額)	160,796	135,400
土地	632,687	632,687
その他(純額)	148,542	123,470
有形固定資産合計	2,371,198	2,231,506
無形固定資産	111,934	97,945
投資その他の資産		
投資有価証券	701,619	799,230
繰延税金資産	322,037	364,682
退職給付に係る資産	62,146	56,859
その他	306,548	294,967
投資その他の資産合計	1,392,352	1,515,740
固定資産合計	3,875,485	3,845,192
資産合計	10,948,926	11,432,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,640,525	1,628,732
短期借入金	38,000	38,000
未払法人税等	114,371	211,288
賞与引当金	249,000	275,000
その他	428,815	536,674
流動負債合計	2,470,712	2,689,695
固定負債		
長期借入金	350,000	350,000
再評価に係る繰延税金負債	26,734	26,734
退職給付に係る負債	757,044	730,316
その他	205,005	126,419
固定負債合計	1,338,784	1,233,470
負債合計	3,809,496	3,923,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	730,599	743,677
利益剰余金	5,745,626	6,011,635
自己株式	△322,437	△313,664
株主資本合計	7,046,787	7,334,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,756	205,676
繰延ヘッジ損益	103	—
土地再評価差額金	2,853	2,853
為替換算調整勘定	7,563	7,641
退職給付に係る調整累計額	△48,634	△41,314
その他の包括利益累計額合計	92,642	174,856
純資産合計	7,139,429	7,509,503
負債純資産合計	10,948,926	11,432,670

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,414,614	8,269,988
売上原価	4,688,968	4,795,067
売上総利益	3,725,645	3,474,920
販売費及び一般管理費	2,725,625	2,633,365
営業利益	1,000,020	841,555
営業外収益		
受取利息	7,242	3,118
受取配当金	14,467	12,602
持分法による投資利益	2,259	1,254
保険返戻金	4,240	—
助成金収入	337	3,910
その他	9,476	6,482
営業外収益合計	38,023	27,368
営業外費用		
支払利息	1,648	1,356
売上割引	7,937	7,922
為替差損	71	3,369
投資有価証券運用損	2,882	8,520
その他	8,141	1,095
営業外費用合計	20,680	22,265
経常利益	1,017,362	846,657
特別利益		
固定資産売却益	11,594	—
特別利益合計	11,594	—
特別損失		
固定資産除却損	2,156	—
減損損失	—	3,029
特別損失合計	2,156	3,029
税金等調整前当期純利益	1,026,801	843,628
法人税、住民税及び事業税	314,404	332,664
法人税等調整額	△2,290	△78,860
法人税等合計	312,113	253,803
当期純利益	714,687	589,824
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	714,687	589,824

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	714,687	589,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,424	74,919
繰延ヘッジ損益	△139	△103
為替換算調整勘定	△7,874	78
退職給付に係る調整額	3,947	7,319
その他の包括利益合計	△53,491	82,214
包括利益	661,196	672,038
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	661,196	672,038
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	892,998	730,599	5,426,350	△322,333	6,727,615
当期変動額					
剰余金の配当			△395,412		△395,412
親会社株主に帰属する 当期純利益			714,687		714,687
自己株式の取得				△103	△103
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	319,275	△103	319,171
当期末残高	892,998	730,599	5,745,626	△322,437	7,046,787

	その他の 包括利益累計額						純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	180,180	243	2,853	15,438	△52,581	146,133	6,873,749
当期変動額							
剰余金の配当							△395,412
親会社株主に帰属する 当期純利益							714,687
自己株式の取得							△103
自己株式の処分							
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△49,424	△139		△7,874	3,947	△53,491	△53,491
当期変動額合計	△49,424	△139	—	△7,874	3,947	△53,491	265,680
当期末残高	130,756	103	2,853	7,563	△48,634	92,642	7,139,429

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	892,998	730,599	5,745,626	△322,437	7,046,787
当期変動額					
剰余金の配当			△323,815		△323,815
親会社株主に帰属する 当期純利益			589,824		589,824
自己株式の取得				△143	△143
自己株式の処分		13,077		8,916	21,994
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	13,077	266,008	8,773	287,859
当期末残高	892,998	743,677	6,011,635	△313,664	7,334,647

	その他の 包括利益累計額						純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	130,756	103	2,853	7,563	△48,634	92,642	7,139,429
当期変動額							
剰余金の配当							△323,815
親会社株主に帰属する 当期純利益							589,824
自己株式の取得							△143
自己株式の処分							21,994
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	74,919	△103		78	7,319	82,214	82,214
当期変動額合計	74,919	△103	—	78	7,319	82,214	370,074
当期末残高	205,676	—	2,853	7,641	△41,314	174,856	7,509,503

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,026,801	843,628
減価償却費	237,834	221,224
減損損失	—	3,029
固定資産除却損	2,156	—
固定資産売却損益(△は益)	△11,594	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,583	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	26,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	52,213	△6,376
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6,221	△4,516
受取利息及び受取配当金	△21,710	△15,720
支払利息	1,648	1,356
持分法による投資損益(△は益)	△2,259	△1,254
売上債権の増減額(△は増加)	558,231	49,895
たな卸資産の増減額(△は増加)	90,929	192,847
仕入債務の増減額(△は減少)	10,794	△11,640
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,813	△13,737
その他	△44,611	73,108
小計	1,865,816	1,357,827
利息及び配当金の受取額	22,355	16,019
利息の支払額	△1,638	△1,355
法人税等の支払額	△545,833	△237,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,340,699	1,135,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△182,890	△117,300
定期預金の払戻による収入	129,300	105,300
有形固定資産の取得による支出	△161,227	△42,231
無形固定資産の取得による支出	△46,510	△29,513
有形固定資産の売却による収入	11,595	—
投資有価証券の取得による支出	△201,428	△1,373
投資有価証券の償還による収入	300,025	—
投資事業組合からの分配による収入	2,850	4,000
その他	224	150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,062	△80,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	240,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△292,000	△100,000
長期借入れによる収入	350,000	—
長期借入金の返済による支出	△365,324	—
自己株式の取得による支出	△103	△143
配当金の支払額	△396,256	△323,793
その他	△1,302	△3,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,987	△327,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,301	547
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	725,348	727,543
現金及び現金同等物の期首残高	1,839,137	2,564,486
現金及び現金同等物の期末残高	2,564,486	3,292,029

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	993円69銭	1,043円03銭
1株当たり当期純利益	99円47銭	81円98銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	714,687	589,824
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	714,687	589,824
普通株式の期中平均株式数(株)	7,184,800	7,194,622

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

品目別売上・受注高

(1)売上高

(単位:百万円)

品目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
		%		%		%
定量ポンプ	4,777	56.8	4,727	57.2	△49	△1.0
ケミカル移送ポンプ	714	8.5	641	7.8	△72	△10.2
計測機器・装置	1,506	17.9	1,591	19.2	85	5.6
流体機器	467	5.6	379	4.6	△88	△18.9
ケミカルタンク	615	7.3	618	7.5	3	0.6
その他	333	3.9	310	3.7	△22	△6.6
合 計 (うち海外)	8,414 (753)	100.0 (9.0)	8,269 (976)	100.0 (11.8)	△144 (223)	△1.7 (29.6)

(注) 1. 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)受注高及び受注残高

(単位:百万円)

品目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		増 減		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
		%		%		%	
受 注 高	定量ポンプ	4,937	57.2	4,658	57.5	△279	△5.7
	ケミカル移送ポンプ	700	8.1	602	7.4	△98	△14.0
	計測機器・装置	1,515	17.6	1,562	19.3	46	3.1
	流体機器	495	5.7	368	4.5	△127	△25.7
	ケミカルタンク	643	7.5	603	7.4	△39	△6.2
	その他	336	3.9	313	3.9	△23	△6.8
	合 計 (うち海外)	8,628 (975)	100.0 (11.3)	8,108 (953)	100.0 (11.8)	△520 (△21)	△6.0 (△2.2)
受 注 残 高	定量ポンプ	604	53.3	534	55.0	△69	△11.5
	ケミカル移送ポンプ	150	13.3	111	11.5	△39	△25.9
	計測機器・装置	199	17.6	170	17.5	△29	△14.8
	流体機器	79	7.1	68	7.1	△11	△14.0
	ケミカルタンク	71	6.3	56	5.8	△15	△21.3
	その他	27	2.4	30	3.1	2	10.2
	合 計 (うち海外)	1,133 (289)	100.0 (25.5)	972 (265)	100.0 (27.3)	△161 (△23)	△14.2 (△8.2)

(注) 1. 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。